

- 農の雇用事業修了者を、経営発展のための人材に育成し、育苗や栽培管理の責任者にしている。
- 休憩室、更衣室、男女別トイレを整備し、従業員の労働環境の整備を図っている。

## (株)ジャパン・ベリーの概要

- 【設立】平成15年5月
- 【代表者】代表取締役 上山 優
- 【売上】22,000万円(令和元年度)
- 【事業内容】いちご(生産・販売・観光いちご狩り)
- 【経営面積】ハウス 290a(生産230a 育苗60a)
- 【主要取引先】(株)マルタ、マックスバリュ東海他
- 【従業員数】47人
- 【所在地】藤枝市青南町2丁目5番1号
- 【ホームページ】<https://www.japanberry.net/page1>

## 栽培・経営両面の技術を身につけさせ将来は幹部職員に

### 【研修内容】

- ・ 1年目はいちごの育苗、定植、管理、出荷など栽培の基礎的な技術を身につけます。
- ・ 2年目は基礎的な技術に加え、ハウスの環境、養液システムの管理等の高度な栽培技術を身につけます。
- ・ また、出荷数量や経費の取りまとめやパートの指導等、経営的な知識も身につけます。

### 【特長的な取組】

- ・ 栽培管理技術だけでなく、経営マネジメント能力を取得させ、将来的には経営に参画させたい。
- ・ パート職員や外国人技能実習生等、多様な人材が職員として働いており、職員管理能力を取得させる。
- ・ 過去の農の雇用事業の終了者は、農場長等、栽培部の責任者になっている。

→いちごの経営は、市場出荷、直接販売、いちご狩りによる観光と多角化し、リスクの分散を図っていますが、そのため経営上の課題も多く、従業員教育が重要になります。そのため、農の雇用事業を活用し職員教育を行い、早期に会社の業務の担い手になるよう努めています。また、休憩室や更衣室、男女別トイレの整備を行い、従業員が働きやすい環境の整備に努めています。



## 将来ビジョン

